

熊野町新総合計画
住民アンケート調査結果報告

だから」が30%台であげられました。

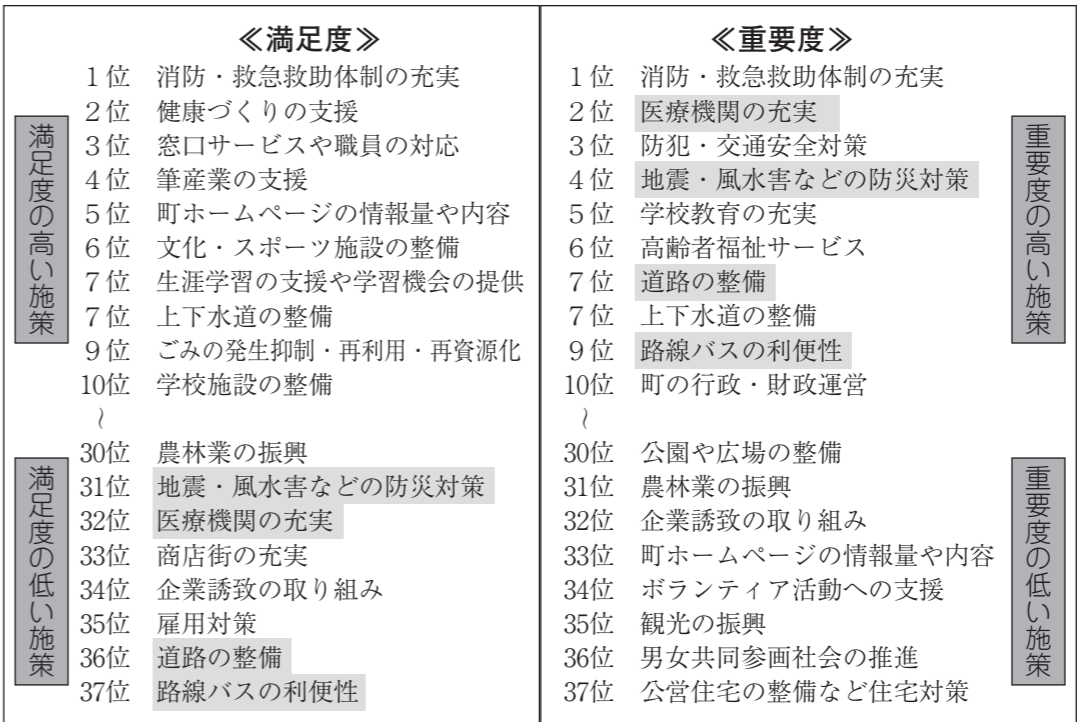
◆現在のまちづくりについて、あなたが感じる満足度と重要度は、

満足度が最も高いのは、「消防・救急救助体制の充実」、次いで、「健康づくりの支援」、「窓口サービスや職員の対応」となっています。

一方、満足度が最も低いのは、「路線バスの利便性」、次いで、「道路の整備」、「雇用対策」となっており、道路・交通、産業・雇用に対する評価が低くなっています。

重要度が高いのは、「消防・救急救助体制の充実」、次いで、「医療機関の充実」、「防犯・交通安全対策」、「地震・風水害などの防災対策」となっており、安全・安心に係ることが高くなっています。

【図5】あなたが感じる満足度と重要度は



の推進」、「観光の推進」となっています。

重要度が高いのに満足度が低い項目のうち、「医療

機関の充実」、「地震・風水害などの防災対策」、「道路の整備」、「路線バスの利便性」については、特に取り

組みの推進や改善を検討する必要がありますと言えます。

◆まちづくりに活かしていただきたいこと、大切にしたいことは何ですか

「熊野筆」が最も高く46・1%、次いで「熊野の歴史・文化・産業」43・9%、「田園風景や自然環境」37・4%、「広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件」36・4%が上位にあげられました。（図6参照）

地域別では、東部で「田園風景や自然環境」が42・2%と他の地域に比べるとやや高いようです。年代別では、20代で「祭りや伝統行事、イベント」が46・5%と「熊野筆」に次いで高いのが特徴的でした。



制の充実」の割合が高く、次いで、「健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援」、「介護サービスや介護予防事業の充実」が上位を占めています。

年代別では、20～30代で「出産や子育てに関する医療・相談体制の充実」、「乳幼児医療費助成などの充実」が4割以上と高く、年

代による特徴を示しています。

▽教育・文化の分野
「子どもの基礎学力の向上」が最も高く、次いで、「道徳教育の充実」、「教員の資質の向上」、「いじめ、不登校対策の充実」が4割台を示しています。

▽都市基盤・生活環境などの分野
「狭い道路の解消、歩道

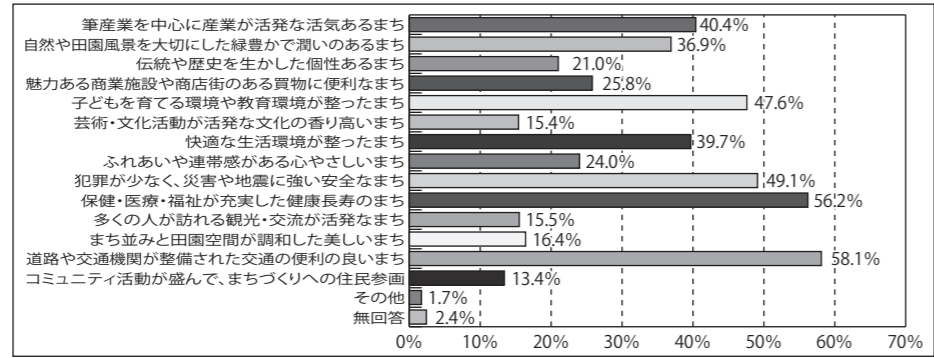
の整備など、安全に通行できる道路の整備」、「バス等移動交通手段の確保」の2項目の割合が突出して高く、地域別、年代別に見ても高い割合を示しています。その他では、「交通安全・防犯対策の推進」、「ごみの減量化やリサイクルの推進」などがあげられています。

◆熊野町が将来どのようなまちであればよいと思いますか（複数回答）



「道路や交通機関が整備された交通の便利の良いまち」が最も高く58・1%、次いで、「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」56・2%、「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」49・1%、「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」47・6%、

「熊野町が将来どのようなまちであればよいと思いますか



これらの住民アンケート調査の結果は、熊野町新総合計画作成の参考にさせていただきます。

（政策企画課）

熊野町新総合計画
住民アンケート調査結果報告

一保健・医療・福祉の分野一	
1 国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営	59.6%
2 夜間・休日診療や救急医療体制の充実	58.4%
3 健康診査などの健康増進事業の充実や健康づくり活動への支援	40.9%
4 介護サービスや介護予防事業の充実	39.2%
5 高齢者や障がい者の移動手段の確保	33.8%
一教育・文化の分野一	
1 子どもの基礎学力の向上	51.0%
2 道徳教育の充実	49.0%
3 教員の資質の向上	48.8%
4 いじめ、不登校対策の充実	40.2%
5 青少年の健全育成	30.6%
一都市基盤、生活環境などの分野一	
1 狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備	69.1%
2 バス等移動交通手段の確保	55.7%
3 交通安全・防犯対策の推進	43.6%
4 ごみの減量化やリサイクルの推進	30.4%
5 上下水道の整備や合併処理浄化槽の整備	27.6%
一産業振興に向けて一	
1 企業誘致の取り組みなど新たな産業の振興	35.4%
2 筆職人の後継者育成の支援	32.8%
3 既存商店街の空き店舗の活用や駐車場整備	30.6%
4 地元商店の振興	26.4%
5 特産品の開発	26.1%